

配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、右記のお問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただけない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であれば配当金をお支払いいたします。

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は右記のお問い合わせ先にお申し出ください。

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

① 証券会社の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

② 特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	



HIOKI

第64期年次報告書

2015年1月1日～2015年12月31日

目次	
株主の皆様へ	P1
2015年12月期 決算ハイライト	P2
トピックス	P3
事業領域	P4
HIOKIイノベーションセンターのご案内	P5
連結財務諸表	P7
会社概要/役員	P9
株式の状況	P10

To Our Shareholders

株主の皆様へ



「測る」ことを通じて、より良い社会の実現に貢献してまいります。

2016年2月
代表取締役社長

まちだ まさのぶ
町田 正信

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、自動車・電子部品業界を中心とした設備投資が好調に推移し、当社の重点市場である自動車、電子部品、環境・新エネルギー分野での計測器の売上高を伸ばすことができました。おかげさまで、過去最高の売上高を達成することができました。

新製品では、世界最高クラスの確度を実現した電力測定器を発売し、大変好評をいただいております。こうした「測る」技術をさらに磨き上げるため、新たに竣工しました研究棟「HIOKIイノベーションセンター」を基盤として、「一桁上のセンシング技術」の実現を目指しております。これからも、お客様にとってより高い価値を提供していけるよう、新たな計測の世界を創造し続けたいと考えております。

さて本年より、当社はコーポレートロゴマークのカラーを変更しました。昨年までの青・緑2色のカラーから、「情熱」を意味する赤味がかった濃い青色の単色としました。この色に込めた「情熱をもって高品質の商品を世界に届ける」との想いのもと、全社員が一丸となって、世界に向けてブランドイメージの浸透を強力に推進してまいります。

人びとの安心と安全を支え、そして産業の発展に貢献できる計測器メーカーでありたい。当社の企業理念である「人間性の尊重」と「社会への貢献」のもと、これからも活気あふれる企業として社会に貢献すべく、社業に邁進してまいります。

なお、当期の期末配当につきましては、30円とさせていただきます。これにより、年間配当金は、中間配当金の15円と合わせて45円となります。

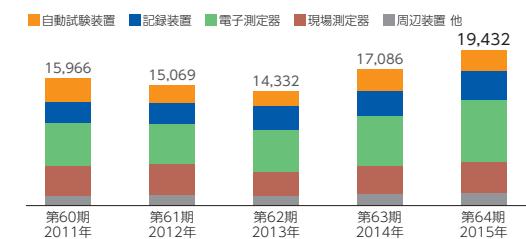
Financial Highlights

2015年12月期 決算ハイライト

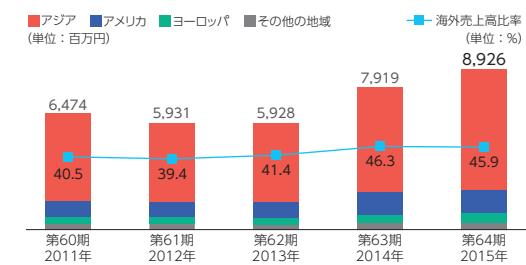
2015年は過去最高の売上高となりました。

● 売上高 19,432百万円(前期比 13.7%増)

製品別売上高



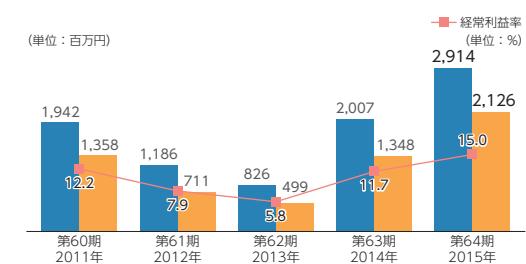
海外売上高



● 経常利益/当期純利益

■ 経常利益 2,914百万円(前期比 45.2%増)

■ 当期純利益 2,126百万円(前期比 57.7%増)



当社グループの主要顧客であります自動車及び電子部品メーカーの設備投資活動が前期同様活発であったことにより、当社の電気測定器に対する需要は引き続き好調に推移しました。これにともない当社グループの国内売上高は、電子測定器を中心に伸長し、前連結会計年度と比べ14.6%増加しました。

一方、海外市場においては、重点地域における継続的な販売力の強化と販売網の拡大を行った結果、中国及び東南アジアを中心としたアジア地域において、売上高が大きく伸長しました。また、円安効果もあり、当社グループの海外売上高は、前連結会計年度と比べ12.7%増加しました。

製品開発では、36機種の新製品を発売し、売上高伸長を牽引しました。5月に稼働した研究棟では、技術者が同一フロアのフラットな空間に集結し有機的に連携をはかることにより、商品企画の充実及び開発期間の短縮が進みました。

販売面では、顧客密着型営業プロセスの構築に向けて、顧客との接点を増やし、顧客情報の整備及び顧客価値の創造に努めました。また、海外販売においては、販売子会社の営業力強化及びブランディング活動を積極的に展開するとともに、主要販売地域の複数代理店化を進めました。

生産面では、継続したリードタイムの短縮及び適正在庫実現の取り組みを進めました。今後さらに、業界ナンバーワン品質達成への取り組みを加速してまいります。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、194億32百万円(前連結会計年度比13.7%増)になりました。これにともない、営業利益は28億92百万円(同46.8%増)、経常利益は29億14百万円(同45.2%増)、当期純利益は21億26百万円(同57.7%増)になりました。

本年次報告書中に記載の金額および株式数は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。

Topics

トピックス

01 新製品開発

お客様のニーズを反映した商品創出に取り組み、当期は累計で36機種を発売することができました。これらの新製品が売上増に貢献しました。

なかでも、世界最高クラスの測定精度、広帯域の測定周波数、耐ノイズ性向上による高い安定性といった特長を持つパワーアナライザPW6001、太陽光発電システムを安全かつ正確に測定できる太陽光発電システム用絶縁抵抗計IR4053は、高度な技術と独自の商品企画により、多くのお客様に高い評価をいただいております。



タイでも植樹活動を推進

02 創業80周年記念事業

2015年、当社は創業80周年の各種記念事業を執り行いました。記念式典・感謝パーティ・HIOKIイノベーションフェアの開催などのほか、4月6日には、漫画家・松本零士先生とのコラボレーション企画として日本経済新聞と信濃毎日新聞に全面広告を掲載しました。

さらに80周年記念の公開講座を3回開催しました。元日産GT-Rプロジェクト責任者の水野和敏氏、海洋冒険家の白石康次郎氏、ジャーナリストの池上彰氏といった各方面でご活躍の方々をお招きし、ご講演をいただきました。

03 社会貢献活動

当社が支援する少年硬式野球上田南リーグでは、シニアクラスで3つの全国大会に出場し、このうち2大会でベスト8に進むことができました。

また、植樹活動では10月14日にタイ中部に位置するカンチャナブリで、当社社員、東南アジア地域の販売を担当する子会社HIOKI SINGAPOREのスタッフ、現地の小学生など60名が参加し、寄贈した200本の苗木を植樹しました。また、日本国内では長野県青木村の「ふるさと公園あおき」の植樹祭に1,855本の苗木を寄贈、植樹しました。

さらに当社が運営母体となっている公益財団法人HIOKI奨学・緑化基金では、2016年から奨学生募集地域の拡大と募集人員の増員を決定しました。従来、長野県東北信地域の13~15名の4年制大学理工系学部進学の学生を対象にしていたましたが、対象地域を長野県全域に拡大し、対象人数を20~30名に増員することとしました。

Business Outline

事業領域

当社は、電気計測器の開発、生産、販売・サービスを一貫して行う研究開発型企业です。

当社の製品は、自動車、電子部品、環境・新エネルギーなどの産業分野で、最先端の研究開発から、生産ライン、電気工事の現場まで、幅広く対応しています。

本社工場のあるHIOKIフォレストヒルズにすべての部門が集結し、開発、生産、販売・サービスが三位一体となり、お客様の様々な要望に迅速にお応えしています。また、当社の製品は60か国以上に輸出され、海外売上高比率は約46%を占めており、さらなるグローバル化を進めています。



HIOKIフォレストヒルズ (本社工場とHIOKIイノベーションセンター)

4つの製品群で研究開発から保守サービスまで対応

自動試験装置：電子回路基板や部品内蔵基板の検査

電子回路基板や部品内蔵基板の良否を検査する装置です。量産品から多品種少量品まで幅広い検査装置を提供し、各種用途に利用されています。



記録装置：輸送機器の開発や設備の異常監視

電気信号の時間的な変化を記録・解析する装置です。自動車・家電の開発から設備機器の保全まで、幅広い用途に対応しています。



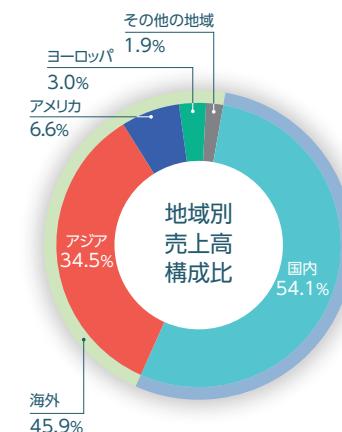
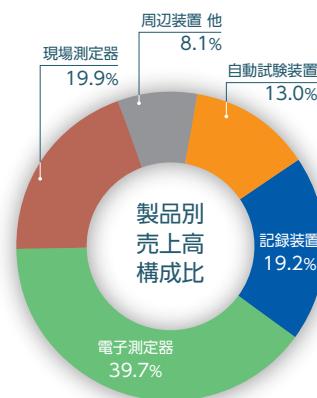
電子測定器：電子部品の検査や省エネ監視

電子部品やデバイスの品質を評価・検査する計測器、および省エネや電源品質の評価に欠かせない各種電力計をラインナップしています。



現場測定器：電気工事・設備の保守点検

電気工事や設備の保守点検、および温度・照度・騒音などの環境測定にも利用されています。



Close up

HIOKIイノベーションセンターのご案内

人と環境と未来を育む 先端技術創造拠点

PLATFORM TO THE FUTURE

HIOKIイノベーションセンターに集うすべての知恵を融合させ、次代を切り拓く計測ソリューションを発信していきます。

研究開発の拠点であるHIOKIイノベーションセンター(2015年5月稼働)の主な設備と各フロアをご紹介します。



1F 電波暗室
製品からの不要ノイズ測定やノイズ環境での耐ノイズ性能を評価する3m法電波暗室(世界最高水準)



1F クリーンルーム
「広帯域電流プローブ」のキーデバイスとなる半導体の生産と新規開発

1F エントランス 実験室フロア

EMC試験室
電波暗室、振動試験室等

世界最高水準の試験設備や評価試験装置を導入。より信頼性の高い製品をお届けします。



1F 開放的なエントランス



2F テラス
インフォーマルなコミュニケーションの場。屋外へ出たりのリフレッシュも可能



2F 会議室
3室を設置、最大60名の会議開催も可能



2F 信頼性試験センター
JCSS校正(ISO/IEC17025)と一般校正用の標準室を設置。恒温恒湿室と標準試験室からなる5連室

2F コミュニケーション スペース

テラス 会議室
信頼性試験センター・デザインスタジオ等

コミュニケーションスペースには、会議室に加え、研究開発者がリラックスして会話ができる「テラス」を設け、集中とゆとりで新たな発想を喚起します。



3F ワークスペース
400名まで収容可能な108m×35mのフロア。技術者が同一フロアに集結し、自然なコミュニケーションから新たなアイデアや発見が生まれ、新製品開発への波及効果を期待したレイアウト

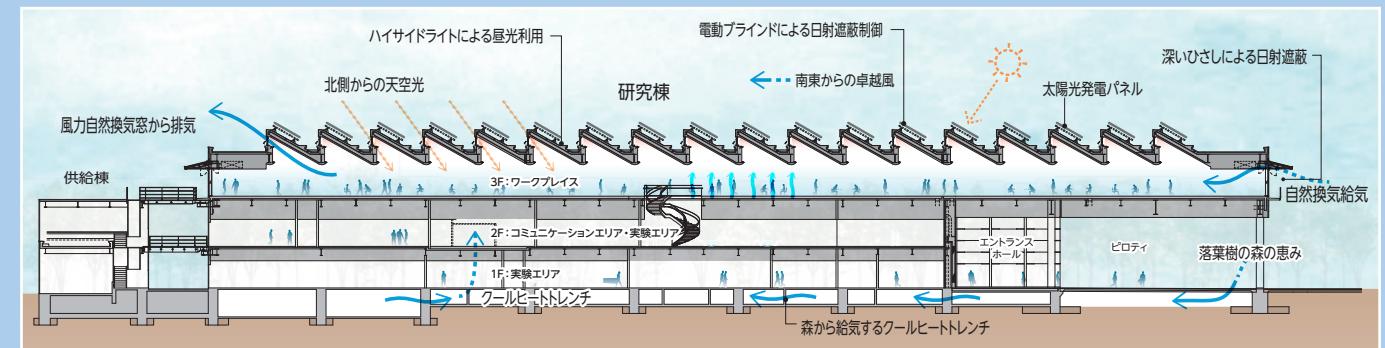


3F ミーティングルーム
6室を設置、Web会議も可能

3F ワンプレートの ワークスペース

ワークスペース
ミーティングルーム等

技術者同士の自然な交流から豊かな発想を喚起し、高度でユニークな新製品開発を可能にする研究開発環境です。



自然の恵みを最大限利用する環境建築

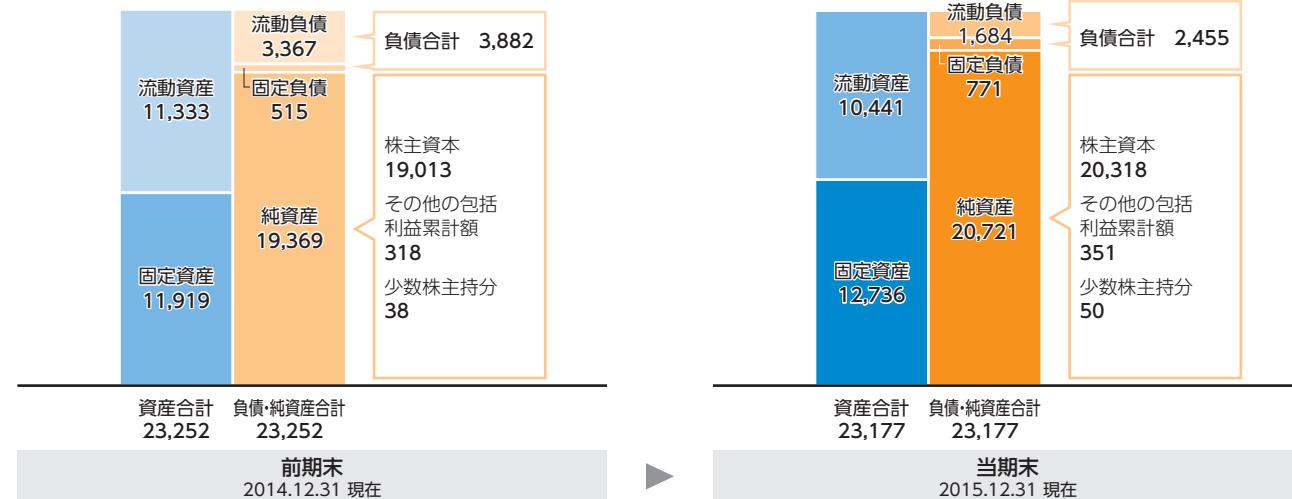
上田市は晴天率が高く、フォレストヒルズの森に囲まれた敷地は空気の高純度が高まった環境にあります。この自然環境を取り込んだ省エネルギーシステムを採用しています。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

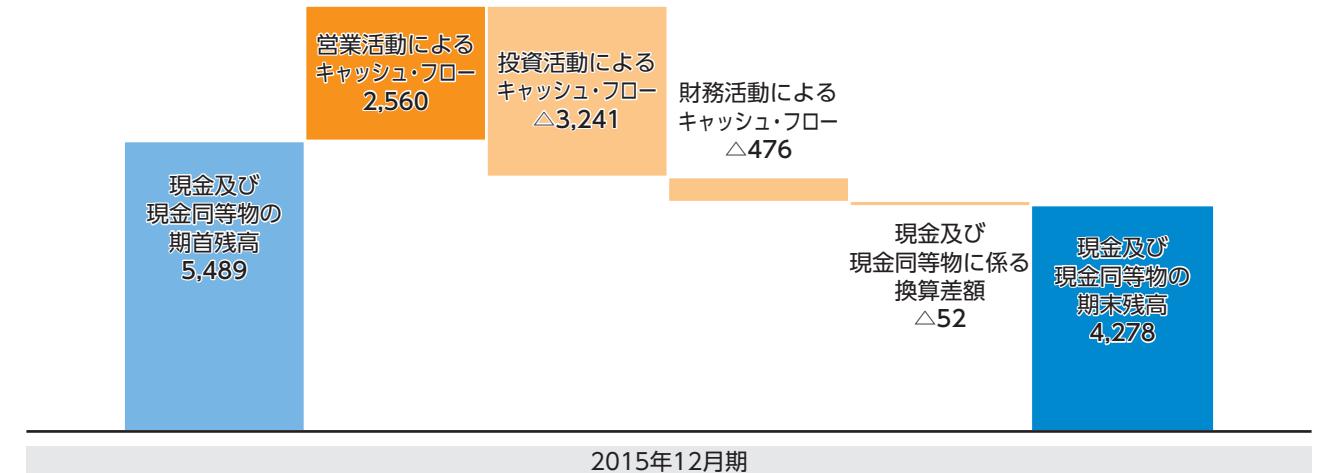
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



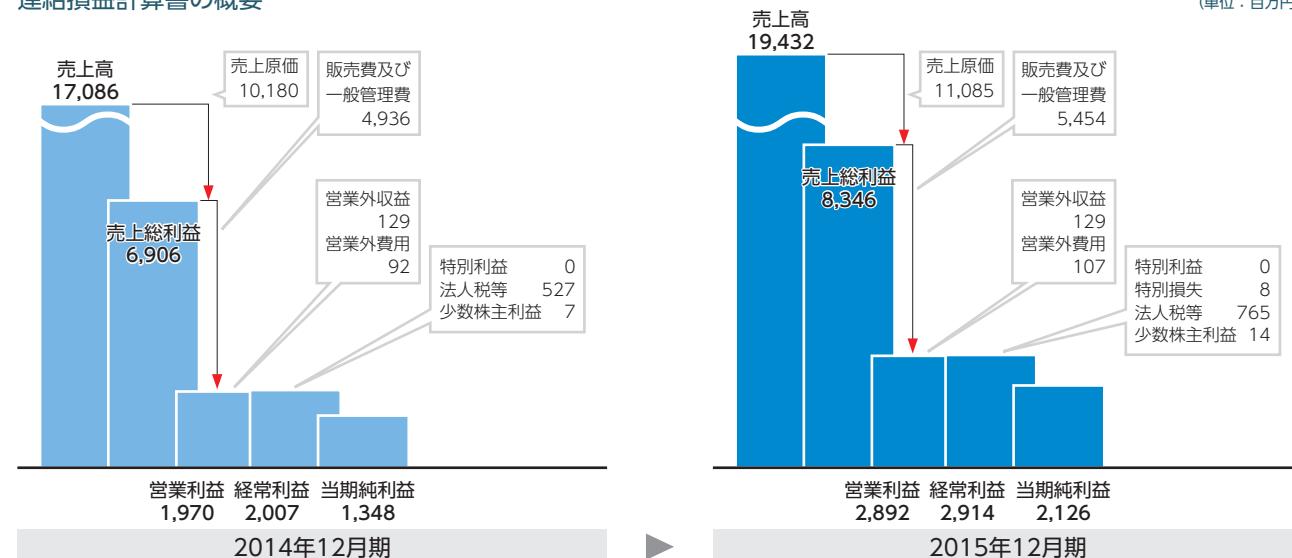
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



財務のポイント

● 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、売上債権は増加しましたが、研究棟関係の支払いにより現金及び預金が減少したため、前連結会計年度末と比較して75百万円減少し、231億77百万円になりました。

負債は、退職給付に係る負債が増加しましたが、未払金及び賞与引当金が減少したため、前連結会計年度末と比較して14億26百万円減少し、24億55百万円になりました。

純資産は、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して13億51百万円増加し、207億21百万円になりました。

● キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して12億11百万円減少し、42億78百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、25億60百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益29億6百万円及び減価償却費10億34百万円です。主な減少要因は、売上債権の増加額3億99百万円及び法人税等の支払額7億79百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、32億41百万円の支出になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、4億76百万円の支出になりました。

Corporate Profile

会社概要/役員 (2016年2月26日現在)

会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	HIOKI
資本金	32億9,946万円
社員数	778名(2015年12月31日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
連結子会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)商貿有限公司 HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO., LTD.

取締役および監査役

代表取締役社長	町田 正信
取締役	細谷 和俊
取締役	岡沢 尊宏
取締役	巢山 芳計
取締役	中神 靖雄
取締役	中谷 朔三
常勤監査役	田口 公明
常勤監査役	竹内 繁弘
監査役	小川 直樹
監査役	弓場 法

※中神靖雄および中谷朔三の両氏は社外取締役です。
※小川直樹および弓場法の両氏は社外監査役です。

Information ログマークのカラーが変わりました。

HIOKIブランドの認知度を高めることを目的として、2016年1月1日から、グローバルで通用する「分かりやすさ」「強さ」を意識したデザインに変更しました。

1996年以降使用してきたログマークを、形状はそのままに、製品に展開しているプロダクトブルー（濃い青色）の単色をコーポレートカラーとしました。

新しいロゴには、「情熱をもって高品質の商品を世界に届ける」という想いが込められています。

1996年～2015年のロゴ
HIOKI

新しいロゴ
HIOKI

これにともない、Webサイトもリニューアルしました。(https://www.hioki.co.jp/)
お客様の視点に立って、より検索しやすくなりましたので、ぜひご覧ください。

Stock Information

株式の状況 (2015年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	14,831名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日置恒明	910	6.68
日置電機社員持株会	785	5.76
日置勇二	719	5.28
株式会社八十二銀行	666	4.89
日置妙子	633	4.65
明治安田生命保険相互会社	510	3.75
日置秀雄	397	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	275	2.02
日置 晶	243	1.78
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	217	1.60

(注) 当社は自己株式397千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除し、計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領 株主確定日	毎年12月31日 (中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (https://www.hioki.co.jp/jp/ir/) に掲載しておりますので、ご参照ください。
上場市場	東京証券取引所第一部(証券コード 6866)

株主優待制度のご案内

当社では、毎年6月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の皆様、「信州りんご」を12月上旬にお送りする株主優待制度を実施しております。住所を変更された場合は、裏表紙に記載の「株式に関するお手続きについて」をご覧ください。住所の変更手続きをお願いいたします。

確実にお届けするために

毎年6月下旬以降に住所を変更された場合は、株主名簿に記載のご住所は旧住所のままとなります。その場合、たいへんお手数ですが、10月末までに当社担当窓口(広報課)までご一報いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
また、優待品は複数の配送会社によってお送りしています(2015年は日本郵便とヤマト運輸)。優待品が確実に届くよう、お引越の際には、複数の配送会社に転送届をお出しいただければ幸いです。

※株主優待対象の株主確定日は6月30日ですが、株主確定日を含む4営業日前(権利付最終日)までに株式を保有いただく必要があります。

お問い合わせ窓口

当社 広報課

0268-28-0555

ir@hioki.co.jp

